津久見市議会だより

第68号
令和２年３月　定例会
令和２年５月１日　発　行
編集発行　大分県津久見市議会 ☎0972-82-9518

題字は津久見高校書道部

堅徳小学校　チャレンジ祭

◉令和２年度予算……P２・３
◉令和２年度主要事業……P４・５
◉各常任委員会・賛否表……P６～８
◉意見書……P９
◉一般質問……P10
◉議員研修……P11
◉議会の主な動き……P12

クイズさがして「つくみん」?

Q1 令和２年度の一般会計予算は、昨年度より　①増えた　②減った

Q2 「まるごと支援事業」は、①災害　②福祉　③教育

Q3 「桜観光」で、長目地区に植えた桜は？①「河津桜」　②「ぼたん桜」　③「大漁桜」

Q4 「つくみマルシェ」は、どこにある？①「イルカ島」②「うみえーる」③「つくみん公園」

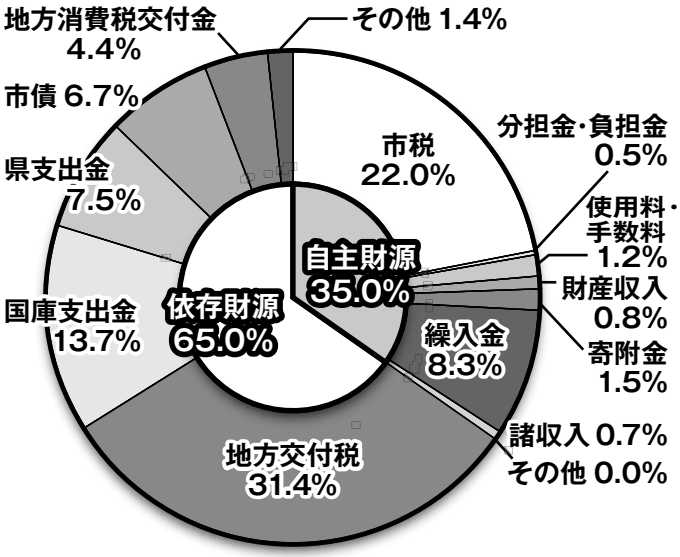
Q5 議員研修会のテーマは？①「財政」　②「福祉」　③「観光」

前年度比0.7%減 令和2年度 一般会計当初予算 94

歳入内訳…繰入金が減少！

区　分	令和2年度予算額	昨年度と比べると…
市　税	20億7,019万9千円	14万8千円
地方交付税	29億5,000万円	5,000万円
国庫支出金	12億8,945万5千円	3,210万7千円
県支出金	7億　225万1千円	△4,807万4千円
分担金・負担金	4,777万9千円	△1,072万5千円
使用料・手数料	1億　881万2千円	△470万円
財産収入	7,326万2千円	501万4千円
寄附金	1億4,000万5千円	6,000万1千円
繰入金	7億8,240万4千円	△1億　801万5千円
諸収入	6,988万2千円	△1,840万6千円
市　債	6億2,990万円	△9,780万円
その他	5億4,705万1千円	7,745万円
合　計	94億1,100万円	△6,300万円

△印は減少額



特別会計予算…高齢化の生活・健康支える事業！

区　分	令和2年度予算額	昨年度と比べると…
国民健康保険事業	22億7,148万5千円	△1億8,348万3千円
土地区画整理事業	5,512万2千円	△2,332万8千円
奨学資金事業	1,407万9千円	167万円
簡易水道布設事業	5,863万9千円	806万8千円
公共下水道事業	6億　789万円	△4億2,798万3千円
後期高齢者医療	3億1,176万5千円	256万4千円
介護保険事業	29億8,156万5千円	2億　267万1千円
合　計	63億　54万5千円	△4億1,982万1千円

△印は減少額

将来にわたる人口ビジョンは？

問…**総合戦略の中に人口ビジョンの見直しがあるが、人口ビジョンの素案ができた後で、国勢調査の速報値が出る。素案と速報値で人口が違っていたときに、成案はどうするのか？**

答…県の人口推計が毎月出てきているので、それをもとに人口ビジョンを作っていきたい。総合戦略のスタートから、実際の人口との違いが大きくあってはならないので、どの程度なのかを判断して作っていきたい。

生活困窮者に働く場を！

問…**生活困窮者就労準備支援業務委託料について、生活困窮者への支援のニーズをどうとらえているか？ 委託先は？ 何名ぐらいなのか？**

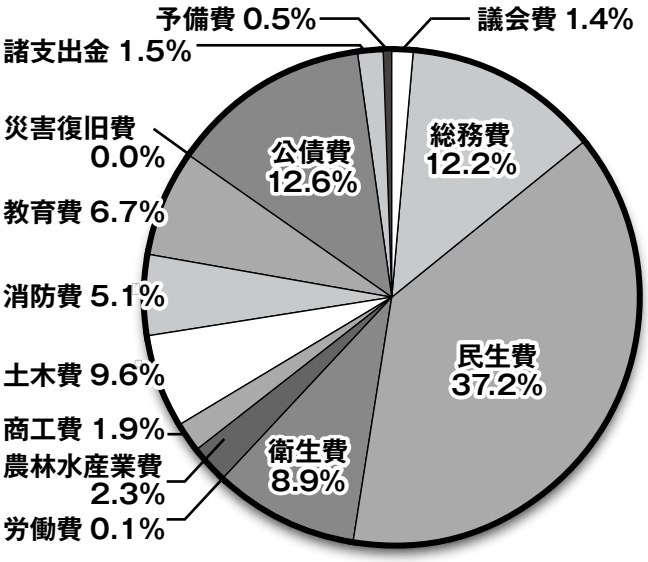
答…対象者は主に「ひきこもり」の人などで、うばめ園に委託し、どういう体験メニューが組めるかを検討してもらっている。それをもとに相談者に対して、市の方でメニューを提供していくつもりである。5名程度である。

予算常任委員会(3/12・13)

予算を問う質疑応答は、2日間で延べ10時間行われました。

億1,100万円

歳出内訳…災害復旧が一段落！



区　分	令和2年度予算額	昨年度と比べると…
議会費	1億3,202万4千円	△16万4千円
総務費	11億5,347万2千円	△3,303万4千円
民生費	35億　88万7千円	1億　322万1千円
衛生費	8億4,016万2千円	3,332万4千円
労働費	585万8千円	△144万6千円
農林水産業費	2億1,323万5千円	△5,727万4千円
商工費	1億7,525万4千円	△6,335万6千円
土木費	9億　60万8千円	△1億　585万9千円
消防費	4億7,807万円	4,464万4千円
教育費	6億3,294万7千円	△6,191万2千円
災害復旧費	1万4千円	0円
公債費	11億8,599万1千円	1,890万7千円
諸支出金	1億4,247万8千円	5,994万9千円
予備費	5,000万円	0円
合　計	94億1,100万円	△6,300万円

△印は減少額

津久見高校への支援は？

問…津久見高校支援補助金について今年度の入試で大幅な定員割れを起こしている。津久見の子が津久見高校に行く環境を作っていく必要があるのではないか。今後、津久見高校に対してどのような支援をしていくのか？

答…志願状況では、普通科は厳しい状況であると認識している。高校からも様々な情報発信をしている。人材育成の支援や進学力を伸ばす、就職力を伸ばすための支援に使われている。地域に貢献できる人材育成を図っている。小中高の連携事業としての予算を組んでいる。「津久見の子は津久見で育てる」ということを市民に知ってもらうと同時に、津久見高校と連携して「魅力ある学校づくり」に努めなければならないと考える。

保戸島診療所の運営負担金は？

問…保戸島診療所の運営負担金が、前年度比200万円増えて、1,300万円になっているが、その要因は？

答…人口の減少等により、1日当たりの患者数が減少している。また、診療報酬の点数が下がっており、診療所の収入が減少している。

ハザードマップをどう活かすか！

問…どこの土砂災害ハザードマップを作っているのか？どの段階なのか？できたマップの配布は？

答…津久見市の警戒区域が約680か所ある。去年までが512か所のマップ作成が終わった。令和元年度は115地区が終わり、合計627か所、率にして約92%終わった。ハザードマップは対象地区だけに配布する。

令和2年度主要事業…今年はここに注目！

保健・医療・福祉 … 医療分野は充実！

予防接種助成事業 3,600万円
県内で最も充実した助成を目指す。三種混合ワクチン・不活化ポリオワクチンの費用を新たに助成する。

子ども医療費助成事業 4,655万7千円
未就学児及び小中学生の医療費を無料化する事業。

つくみ福祉まるごと支援事業 1,022万7千円

困りごとを「まるごと」受け止めるため、「断らない窓口」を推進し、支援する体制を強化する。

運動チャレンジ事業・津久見市地域職域健康づくり支援事業 67万1千円
健康増進のため、市民グループ単位で「おおいた歩得（あるとっく）」を活用し、運動習慣の定着を図る。

教育・文化 … 教育環境整備は道半ば！

津久見高校地域振興協議会助成事業 150万円
津久見高校の魅力向上と情報発信を行い、入学希望者の確保を目指す。

津久見高校

小中学校特別支援員配置事業 1,021万5千円
学習支援を必要とする児童・生徒のため、小中学校に特別支援員を配置する。

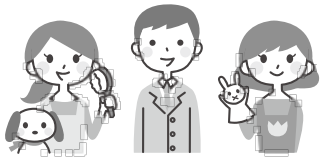
津久見市民図書館改修工事 772万円
開館から 20 年以上経過した市民図書館の計画的な改修。復興まちづくり事業で行ったワークショップ等を基に、図書館周辺環境整備と駐輪場の改修を行う。

市民図書館駐輪場

産業振興・雇用 … 働く者の、活気あふれるまちに！

有害鳥獣捕獲事業 1,593万1千円

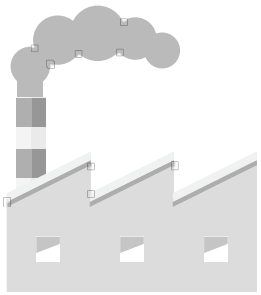
農作物に被害を与えるイノシシ・シカ・サル等有害鳥獣の捕獲に対し報奨金を支給する。サルパトロールを実施する。



農地基盤整備事業 1,100万円
市内にある遊休農地及び荒廃園を整備し、既存農家の規模拡大、新規就農者等の参入の参画を促進する。

企業立地促進事業助成金 2,700万円
1事業所当たり上限 500 万円／年・最長で3カ年交付

創業支援事業補助金 500万円
飲食・サービス業等の幅広い業種の新規創業等を支援する。
1事業所当たり上限 50 万円



地方創生推進交付金事業 1,700万円
津久見市版観光 DMO（※1）・地域商社機能加速化事業

※1…観光DMOとは、地域と協同して、観光地域作り事業を行う法人のこと

まちづくり・災害対策 … 安全・安心のまちで暮らそう！

市役所新庁舎建設事業 1,800万円
設計の指針となる「基本計画」の策定と建設予定地の地質調査

定住促進対策事業 2,637万2千円
新築祝い品・移住者居住祝い品・新婚子育て世帯応援家賃補助金等

内水ハザードマップ作成業務 1,000万円
内水による浸水区域や避難情報等を示したハザードマップを作成する。

消防ポンプ自動車購入事業 4,663万7千円
運用開始から20年以上経過している消防ポンプ自動車を更新する。

防災拠点無線LAN環境整備事業 1,000万8千円
防災拠点（避難所・官公署など市内16か所）に公衆無線LAN（Wi-Fi）環境を整備する。

簡易水道改修工事 1,620万円
保戸島地区において、老朽管の布設替工事を行う。

市役所新庁舎建設予定地

市道岩屋線道路改良事業（激特関連事業）…1億4,800万円

県が施工する津久見川拡張工事に合わせて架け替えられる新港橋についても、幅員を拡張し、歩道を設置する。

環　境 …… 美しいまち「つくみ」を！

新環境センター（仮称）整備事業 138万円
大分都市広域圏の6市で取り組む一般廃棄物の広域処理施設「新環境センター」の整備に係る負担金。稼働目標は2027年。

最終処分場整備事業 4,000万円
資源化処理ができない廃棄物の埋め立て処分場の整備。

ドリームフューエルセンター
中央制御室

ドリームフューエルセンター維持管理費 2億3,917万7千円
計画的な設備更新や整備補修により、施設の延命化を図り、環境にやさしいゴミ処理を継続していく。

地域活性化 …… まちに活力を！

ホームページリニューアル業務委託 705万8千円
クラウド方式に変更し、災害対応力の強化を図る。データ移設のタイミングで、市HPのリニューアルを行う。

まちづくり推進事業補助金 280万円
まちづくりに主体的に取り組む団体に対して助成を行う。市民と行政との協働、人材育成・発掘につなげる。

地域おこし協力隊活動事業 1,317万2千円
地域おこし協力隊への起業支援などを行うことにより、地域活性化や任期終了後の定住・定着につなげていく。

ふるさと寄附金推進事業 6,977万9千円
地元の特産品を全国に情報発信し、寄附金の増額を目指す。

ふるさと納税返礼品
（本マグロ赤身）

長目地区集落活性化事業 95万円
桜観光の一環として、「大漁桜」の植栽と維持管理を図りながら、地域の道路清掃、環境美化などに取り組み、活力ある地域づくりを推進する。

3月定例会 会期：3/3～19

予算常任委員会

●専決処分の承認を求めることについて
（令和元年度一般会計予算の補正）

説 ふるさと納税の1,500万円の増加見込みによる補正と昨年８月の台風災害の復旧事業予算を繰り越すことについて、専決処分を行うものです。

結 全会一致で承認しました。

●令和元年度一般会計予算の補正について

説 令和元年度決算見込に伴う補正で1億6，773万4千円を減額し、歳入歳出それぞれ99億2，686万1千円とするものです。

結 全会一致で可決しました。

●令和元年度国民健康保険事業特別会計予算の補正について
●令和元年度簡易水道布設事業特別会計予算の補正について
●令和元年度公共下水道事業特別会計予算の補正について
●令和元年度津久見市後期高齢者医療特別会計予算の補正について
●令和元年度介護保険事業特別会計予算の補正について
●令和元年度津久見市水道事業会計予算の補正について

終末処理場

説 上記6議案については、主に令和元年度決算見込に伴う予算の補正や、繰越明許費、債務負担行為の設定です。

結 全会一致で可決しました。

●令和2年度予算について

予算の概要は2～5ページに載せています。

●令和2年度一般会計予算について
●令和2年度国民健康保険事業特別会計予算について
●令和2年度津久見市後期高齢者医療特別会計予算について
●令和2年度介護保険事業特別会計予算について

結 上記４議案については、１名の議員から反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

●令和2年度津久見都市計画土地区画整理事業特別会計予算について
●令和2年度奨学資金事業特別会計予算について
●令和2年度簡易水道布設事業特別会計予算について
●令和2年度公共下水道事業特別会計予算について
●令和2年度津久見市水道事業会計予算について

結 上記5議案については、全会一致で可決しました。

総務常任委員会

●職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について

結 全会一致で可決しました。

●津久見市税条例の一部改正について

説 固定資産税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の12月納入分の納入期限を確定申告控除証明等を考慮し、12月30日までを12月25日までに繰り上げるため、所要の改正を行うものです。

問 確定申告等でどのような支障があったのですか。

答 市が奨励している口座振替の場合、翌年の納入で処理される場合が発生し、納税者が不利になることがあります。

結 全会一致で可決しました。

●津久見市印鑑条例の一部改正について

説 成年被後見人の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

問 意思能力の有無の確認方法等についてはどうなっていますか。

答 面接は、正職員が別室で対応し、その際

にはチェックシートを作って確認します。
結　全会一致で可決しました。

●津久見市消防団条例の一部改正について
説　地域防災の要であり、消防団の育成強化と消防団員の確保を図るため、消防団員の年額報酬を、現行17,000円から18,000円に改正するものです。
問　報酬を上げることで、どれだけの増額になりますか。
答　30年度の実績と比較した場合、60万円弱の増加となります。また、出動手当の上限回数を撤廃しました。
結　全会一致で可決しました。

●津久見市辺地総合整備計画の策定について（保戸島辺地）
説　令和2年度から5年間の保戸島地区に係る公共的施設の総合整備計画を策定するものです。
結　全会一致で可決しました。

●津久見市特別職の常勤職員の給与に関する条例等の一部改正について
説　津久見市特別職報酬等審議会の答申を受けた内容に沿って、市長・副市長・教育長の給与に関し、条例の一部改正を行うものです。
結　全会一致で可決しました。

社会文教建設常任委員会

●津久見市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
説　市営住宅に入居する際の連帯保証人の人数等の見直し、納期限の設定を明確にする等の改正と、民法の改正に伴い、敷金を債務の弁済に充てることができる規定の整備などの改正を行うものです。
結　1名の議員から反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

●津久見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
説　内閣府の定める基準の一部が改正されたことに伴い、該当する箇所について、所要の改正を行うものです。
結　全会一致で可決しました。

●指定管理者の指定について

施設の名称	指定管理者	指定期間
落ノ浦地区集会所ほか地区集会所19件	各地区	5年
仙水健康相談所	四浦第1区	5年
高浜臨海休養施設	四浦第6区	5年
久保泊地区農業構造改善センターほか1件	各管理運営組合	5年
高洲ふ頭	県漁協津久見支店	5年
堅徳小キラキラ児童クラブ	キラキラ児童クラブ運営委員会	5年
つくみイルカ島サイドパーク（駐車場）	津久見市観光協会	1年
つくみマルシェ	津久見市観光協会	1年

結　以上の8議案については、全会一致で可決しました。

高浜臨海休養施設

堅徳小キラキラ児童クラブ

イルカ島駐車場

つくみマルシェ
（つくみイルカ島併設）

●他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について（大分市）

説　7市1町で構成する大分都市広域圏による公の施設の相互利用で、令和2年4月1日から大分市の大洲総合体育館を新たに利用の対象に加えるものです。

結　全会一致で可決しました。

●区域内に新たに生じた土地の確認について（徳浦宮町・大字徳浦字浜地先）

●字の区域編入について（徳浦宮町・大字徳浦字浜地先）

説　公有水面埋立工事の完了に伴い、徳浦公園横の船だまりに新たに生じた土地を確認し、字の区域に編入するものです。

結　全会一致で可決しました。

●市道路線の廃止及び認定について（岩屋線・徳浦松崎線・道竜合ノ元線・福鯛網代線）

説　道路改良事業に伴い、変更が生じたため市道の起点、終点の変更を含めて、新たに市道を認定するものです。

結　全会一致で可決しました。

道竜合ノ元線（徳浦側）

福鯛網代線（市民会館前）

○被災者生活再建支援法の改正を求める意見書　→9ページに掲載

結　全会一致で可決しました。

○子どもや保護者、地域、教職員の思いが十分に反映され、すべての津久見市民の願いが集まった統合中学校へとつながっていくよう、「第一中学校・第二中学校統合計画」に対して慎重審議を求める請願

結　継続審査していた請願について、賛成討論、反対討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

その他の議案等

●人権擁護委員候補者の推薦について

説　大塚好裕氏（再任）、吉良松美氏（再任）を推薦するものです。

結　全会一致で適任である旨議決しました。

●津久見市公平委員会委員の選任について

説　上野 寛氏（再任）の選任です。

結　全会一致で同意しました。

●津久見市副市長の選任について

説　飯沼克行氏（再任）の選任です。

結　全会一致で同意しました。

○新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書（案）→9ページに掲載

結　全会一致で可決しました。

議案の賛否表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
○：賛成　●：反対　棄：棄権　欠：欠席

	島田 勝	倉原 英樹	丸木 一哉	菊池 正一	井戸川幸弘	黒木 章三	髙野 至	塩﨑 雄司	谷本 義則	黒田 浩之	宮本 和壽	髙野 幹也	知念 豊秀	西村 徳丸
津久見市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	●	○
令和２年度一般会計予算について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○
令和２年度国民健康保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○
令和２年度津久見市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○
令和２年度介護保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○
子どもや保護者、地域、教職員の思いが十分に反映され、すべての津久見市民の願いが集まった統合中学校へとつながっていくよう、「第一中学校・第二中学校統合計画」に対して慎重審議を求める請願	●	●	○	●	●	●		●	●	●	●	●	○	●

説…説明　問…質問　答…答え　結…結論

議決した意見書

次の2つの意見書を３月19日に議決し、各提出先に提出しました。

被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 総務大臣
- 内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
- 内閣府特命担当大臣（防災）

被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

近年、自然災害が激甚化、広域化している。昨年も台風第１５号、台風第１９号などにより、多くの住民が被災した。津久見市でも平成２９年台風第１８号で多くの家屋が被害を受けたが、被災者生活再建支援制度の「対象外」となる事例が多数発生した。したがって、被災された住民の生活再建を支援する制度の拡充は、喫緊の課題である。

都道府県が相互扶助の観点から拠出した基金を活用し、自然災害により居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害を受けた世帯に被災者生活再建支援金を支給する被災者生活再建支援法は、１９９８年５月に成立し、１９９９年から適用が開始された。これまで、２００４年、２００７年に大幅な法改正があり、一定の改善が図られてきた。

しかしながら、同一の災害で被災したにもかかわらず、災害規模の要件が当てはまらず適用対象外となり被災者間に不均衡が生じている事例や、住宅の建設・購入・補修費など多額の支出を要する住宅の再建に現行の支給額では不十分といった問題など、災害規模や支給対象、支給限度額などの課題がある。

被災された住民の生活再建のためには、特に、住宅再建に対する手厚い支援が求められており、住民生活の安定と被災地の速やかな復興に資するよう、国によるさらなる支援及び制度の拡充が必要である。

よって国会及び政府においては、下記の事項について実現するよう強く求める。

記

１．被災者生活再建支援金の支給対象となる世帯の範囲については、半壊世帯の全ての被災者及び局地的な災害の被災者の生活再建を支援する観点から、被災した世帯の実情に応じた柔軟な対応を可能とすること。
２．被災者生活再建支援法を改正し、被災者生活再建支援金の加算支援金の額を引き上げるとともに、被災者生活再建支援金全体の最高額を引き上げること。
３．被災自治体の負担を軽減するため、被災者生活再建支援法を改正し、被災者生活再建支援法人に対する国庫補助率を引き上げること。また、都道府県の追加拠出に対し、過去と同等の地方財政措置（起債充当率１００％、償還に対する交付税措置８０％）を講じること。

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 総務大臣
- 法務大臣
- 外務大臣
- 文部科学大臣
- 厚生労働大臣
- 経済産業大臣
- 国土交通大臣
- 内閣官房長官

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

新型コロナウイルスによる感染症は世界各地に拡大し、多くの感染者や死者が発生している。我が国においても、複数地域で感染経路が明らかではない患者が発生し、各種イベント中止や学校休業等の新型コロナウイルスを巡る影響が拡大している。

事態の収束が見えない中、国民の不安は増大する一方であり、国と地方自治体が一体となって迅速かつ適切な対策を講じていく必要がある。

よって、国においては、新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、国民の命と健康を守ることを最優先とし、下記の事項に取り組まれるよう強く要望する。

記

１．国外からの新型コロナウイルスのこれ以上の侵入を防止するため、空港や港湾での検疫体制の強化など一層の水際対策を徹底すること。
２．ワクチンの開発・製造を早急に進めるとともに、治療法を速やかに確立すること。また、マスク、防護具、検査キット等の医療物資が不足することがないよう、国の責任において必要量の確保に努めること。
３．新型コロナウイルスに対する国民の誤解や不安を払拭し、冷静な行動を促すためにも正しい情報を迅速かつ積極的に発信すること。
また、感染者および感染の可能性がある人等が不当な不利益を被らないよう、最大限の配慮を要請すること。
４．地域経済への影響を的確に把握するとともに、短中長期的にそれぞれに応じた経済対策を講じること。
５．学校現場における休業等の影響を最小限に留めるため、教育機関に対して適切な支援策を講じること。
６．地方自治体が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講じること。

一般質問 2議員が登壇 傍聴者延べ11名 市政を問う

3月定例会の一般質問は、3月10日㈫に行われ、市政全般について、一般質問をしました。なお、紙面の都合により、全てを掲載できませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス対策について　丸木　一哉

問　津久見市の取組について

答　3月6日まで、4回の対策本部会議を開催し、マスクなどの対応状況や現状の把握、休日の対応などを確認しました。PCR検査の流れなど、まだ全てを把握できていません。市の対応は、大分県や中部保健所と情報の共有、連携を行い、引き続き感染拡大の防止を図ります。市内には指定病院はなく、県内に8ヵ所に指定医療機関があります。近いところでは、県立病院と臼杵市のコスモス病院です。

津久見駅の利用について

問　駅利用で困っている高齢者等が利用しやすい駅にするための施策は。

答　高齢者や障がい者が利用する際は、階段の段差が障害となるケースが多いと思われます。北側正面入り口の昇降機利用には、駅員の付き添いが要ることや事前に駅に予約が必要となり、利便性が高いとはいえません。

問　佐伯駅には令和2年度中にエレベーターがつく予定ですが、津久見駅の設置の予定は。

答　JR、国、県ともその実現に向けて協議をしていく予定です。

問　地域の方が考えた「エスコートガイド」の提案について

資料　「エスコートガイド」とは
①駅を利用する上で困っている人が、階段の昇降などの際にエスコートガイド（付添人・無料）を依頼し、安心・安全にJRを利用することができる。
②駅周辺に居住あるいは事業展開している個人や事業者にガイド業務を委託する。

答　津久見市社会福祉協議会とボランティアグループで進めている「つくみ困りごと支援センター」の可能性や、地域共生社会の実現に向けての自発的な市民や高校生によるボランティアも含め、関係課等と協議していきます。

津久見駅南口階段

新型コロナウイルス感染症対策について　知念　豊秀

問　市民はどう行動すればよいですか。PCR検査は受けられますか。

答　感染は、飛沫感染と接触感染が考えられ、手洗いや消毒などを行い、できる限り人の多い所は避けていただき、十分な睡眠など健康管理に心がけることが重要です。

PCR検査は、37度5分以上の発熱と呼吸器症状があり、入院を要する肺炎が疑われ、医師が検査の必要と思われる場合に、保健所を経由して衛生環境研究センターでのPCR検査となります。

問　感染したときの治療体制は。

答　検査結果で陽性が確認された場合は、大分県が指定する県内8ヵ所の感染症指定病院に入院し、治療を受けていただきます。

問　高齢者・介護施設への対応を具体的に

答　介護施設等は厚労省の「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」に基づき、面会制限、通所者の厳重な体調チェック等の対応をしています。合わせて県保健所や健康推進課と連携し、対応しています。

問　検査の費用負担はどうなりますか。

答　県が必要と判断した場合は費用は不要です。3月6日から保険適用になり患者負担を公費で補助することになりました。

問　国の中小企業の損失補填や、非正規労働者の給与補償の方針に対する市の対応は。

答　大分労働局では、対応する準備を進めています。市としても国、県、商工会議所等と連携を図り、市内事業者への情報提供に努めていきます。

四浦半島の風力発電計画について

問　計画の概要、低周波音について

答　最大15基、64,500kwの風力発電所を設置する計画です。低周波音については「科学的に未解明な部分も多いことから、影響を回避、低減させるよう、調査し、準備書に記載すること」と、事業者に意見を述べています。

その他、中学校統合問題を質問しました。

問…質問　答…答え

議員研修会を開催 ～議会活性化委員会の取り組み～

津久見市議会では、議会の活性化を目的に重点項目を設け取り組んでいます。「議員研修の充実」はその項目のひとつで、研修会や講演会・視察などを通じて議員の知見を広げ、市政に反映させるための活動です。この活動の一環として、3月19日に全議員が出席して「公益財団法人日本交通公社 主任研究員 吉谷地 裕」氏を講師に、「津久見観光の現状とこれから」と題した講演会を開催しました。

講演会では、先ず新型コロナウイルスの感染拡大の中で、なぜ観光が特筆して注目されるかという視点から、観光消費による経済波及効果の大きさについて説明がありました。また、人口減少社会の中で「住民利用」が支えてきた「暮らしの基礎」（商業施設、バス路線・航路、交通・生活インフラなど）が崩壊し、更なる人口減少を招く悪循環に陥る危険性があるとした上で、「関係人口」への期待が高まっていることを指摘しました。「関係人口」とは、言葉のとおり地域に関わってくれる人口のことで、お気に入りの地域に週末ごとに通ってくれたり、頻繁に通わなくても何らかの形でその地域を応援してくれるような人たちのことです。観光やレジャー、ボランティア、ふるさと納税などを通じた「関係人口」を拡大し、取り込むことで、人口減少にともなう地域内消費や税収の減少を補い、私たちの暮らしの利便性や快適性を守ることに繋がる効果が期待できると訴えました。そして「関係人口」を取り込むポイントとして、「関わりしろ」の拡大に取り組む必要があり、具体例として、色々な人々が地域に関わる機会の拡大や、情報のオープン化（オープンデータ）、地域らしさを感じるイベントや特産品の開発、情報発信などを挙げ、全国各地の取り組みを紹介しながら分かりやすく説明しました。

議員研修会

今回の研修（講演）を通じて、津久見観光の課題・可能性を認識するとともに観光振興（地域振興）に向けた取り組みの参考とさせて頂きます。

吉谷地 裕（よしやち ゆたか）氏 プロフィール

岩手県盛岡市出身
公益財団法人日本交通公社 観光地域研究部 主任研究員
津久見市商工観光・定住推進課／津久見市観光協会 事務局長（派遣）
〈専門領域〉観光計画、観光推進組織・体制、地域資源の活用
〈主な実績〉観光地域づくり強化推進事業（観光庁）
東北地方太平洋沿岸地域における自然観光資源の活用に係る現状把握業務（環境省）
エコツーリズム推進法施行支援業務（環境省）
全国各地の観光・まちづくりプランの策定 など

6月定例会のご案内（予定）

6月 9日㈫ 開会
16日㈫ 一般質問
17日㈬ 一般質問
18日㈭ 常任委員会
19日㈮ 常任委員会
25日㈭ 採決・閉会

議会報告会の延期について

5月に議会報告会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、延期いたします。今後は動向を注視しながら、開催時期を決定いたします。

市民の皆様には、ご理解のほどよろしくお願いします。

クイズさがして「つくみん」？の答え：Q1…② Q2…② Q3…③ Q4…① Q5…③

議会の主な動き（1月～3月）

議員出席・参加行事及び会議

1月
- 6日　新年互例会
- 11日　津久見市消防団出初式
- 12日　津久見市成人式
- 19日　人権フォーラム
- 30日　全国市議会議長会産業経済委員会（東京都）

2月
- 10日　第62回県内一周大分合同駅伝結団式
- 13日　大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 17日　大分県市町村会館管理組合定例議会
- 18日　行政視察受け入れ（埼玉県東松山市議会会派４名）
- 19日　第37回津久見市ふるさと振興祭実行委員会
- 20日　大分県市議会議長会第104回理事会（津久見市）

1月　津久見市成人式

3月
- 3日　令和2年第1回(3月)定例会開会
- 10日　一般質問
- 11日　総務常任委員会
- 社会文教建設常任委員会
- 12日　予算常任委員会(～13日)
- 19日　令和2年第1回(3月)定例会閉会
- 議員研修会
- 25日　臼津広域連合議会定例会

2月　県内一周駅伝

その他、議会協議会（4回）・議会運営委員会（4回）・議会活性化委員会（5回）・議会だより編集部会（7回）・議会政策研究会（2回）・広報委員会（1回）・全員説明会（4回）・社会文教建設常任委員会・庁舎建設等特別委員会・総合計画特別委員会を開催しました。

紙面変更のお知らせ

津久見市議会だよりの紙面を見直しました。

- **紙面を、縦書きから横書きに（英数字等を読みやすくするため）**
- **とじ方向を、右とじから左とじに**
- **クイズさがして「つくみん」? のコーナーを創設**
- **一般質問のQRコードから、ホームページ上の動画を見られます**

今後も市民の皆様が読んでわかりやすい紙面づくりを心がけてまいります。市議会やこの紙面に関することなど、皆様のご意見をお寄せください。

つくみの宝

「地域とともにある学校」に

堅徳小学校では、「夢や目標をもち、よく考え、学び合い、心豊かで、たくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、人間性豊かな児童の育成に取り組んでいます。なかでも、「地域とともにある学校」づくりの充実を進めており、年間多くの地域の方に授業に参加していただいています。理科や社会科、生活科、総合的な学習等の授業にゲストティーチャーとして協力をお願いしています。

表紙は、1月28日、29日、31日に行われたチャレンジ祭の様子です。チャレンジ祭は毎年恒例の行事で、地域のみなさんが「たこ作り」や「昔の遊び」のゲストティーチャーとして、子どもたちに作り方や遊び方を教えていただきました。

地域の方から教えてもらいながら活動する、こうした学習だからこそ育つ力があると思います。堅徳小学校は今後も「地域とともにある学校」として教育活動に取り組んでいきます。

編集委員　黒田浩之　知念豊秀　島田　勝　丸木一哉　菊池正一　宮本和壽